

HONDA

エンジン

iGX800

取扱説明書



お買いあげありがとうございます。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

はじめに

- この取扱説明書は、お買いあげいただいたエンジンの正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みください。

安全に関する表示について

本書では、作業員や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記の表示を使って記載し、その危険性を説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

取扱いのポイント

指示に従わないと、本機やその他のものが損傷する可能性があるもの

取扱説明書について

この取扱説明書は

- エンジンを操作するときは、必ず身近な所に置いてください。
- エンジンを貸与または譲渡される場合は、本機と一緒にお願いします。
- 紛失や損傷したときは、お買いあげいただいた販売店にご注文ください。

- この取扱説明書は、仕様変更などによりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。



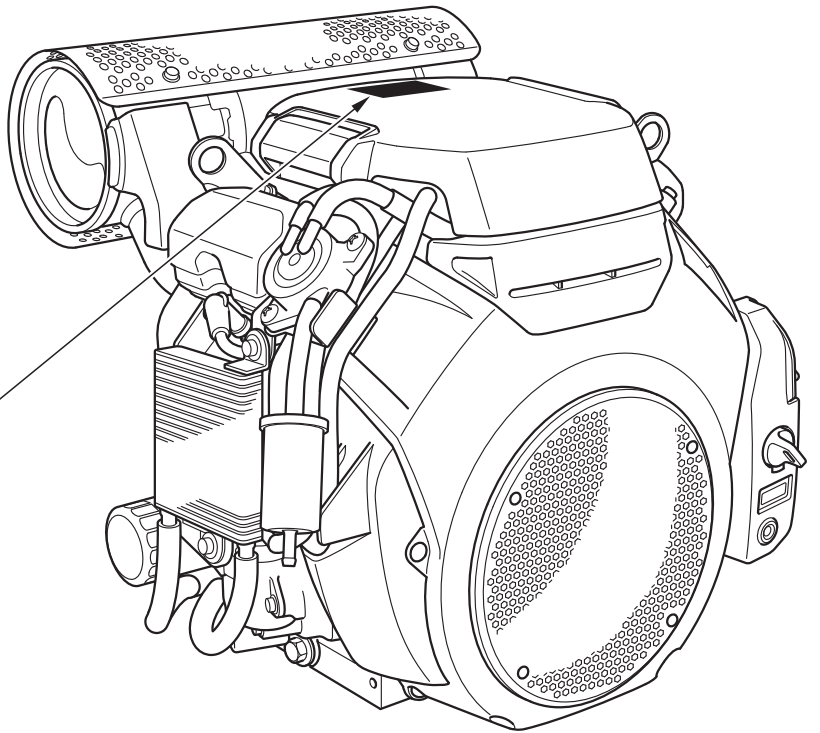
本製品は、(一社) 日本陸用内燃機関協会の排ガス自主規制に適合しています。


●安全ラベル

Honda エンジンをお安全に使用していただくため、本機には安全ラベルが貼ってあります。

安全ラベルをすべてお読みになってからご使用ください。

本機に貼ってあるラベルの破れ、紛失または汚れなどでラベルが読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。また、安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しいものに貼り替えてください。ラベルの貼り替えについては、お買いあげ販売店へお問い合わせください。



警告		警告	
 火気 厳禁	火災や爆発により死傷するおそれがあるので、 ●給油時にはエンジンを停止すること。 ●給油口に火を近づけないこと。		排気ガスによる中毒のおそれがあるので、換気の悪い所で使用しないこと。
注意			
	傷害事故防止のため、運転前に取扱説明書を読み、理解して正しく取扱うこと。		

※

注意	
	ヤケドをするのでマフラーにふれないこと。

※ マフラー装着機のみ。

警告

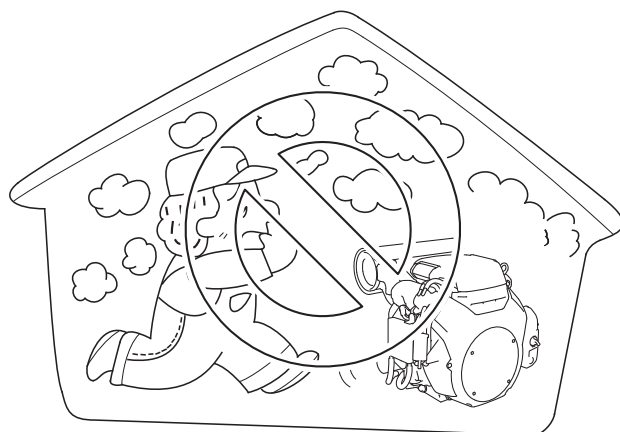
あなたと他の人の安全を守るために次の指示に従ってください。

- エンジン単体でエンジンを始動しないでください。このエンジンは作業機に搭載した状態で使用できるように作られています。
- エンジンを作業機などに搭載する場合は、安全性、耐久性を確保するために高度な技術が必要です。搭載する際は、お買いあげいただいた販売店にご相談ください。
- この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法を十分にご理解の上、操作してください。また、作業機の取扱説明書も事前に読み、正しい取扱い方法を十分にご理解ください。
- 間違いなく取扱うために各部の操作に慣れ、すばやく停止する方法を習得してください。
- エンジンを始動する前に必ず「エンジンを始動する前に点検しましょう」(5～7頁)を行ってください。事故や機器の損傷防止になります。
- 適切な指示、説明なしでは絶対に誰にも本機を運転操作させないでください。また、子供には操作させないでください。事故や機器の損傷が起こる原因となります。
- カバーやラベル類、その他の部品を外してエンジンを操作しないでください。また弊社がみとめない改造または使用はしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。
- 過労や飲酒、薬物を服用してエンジンを使用しないでください。判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。
- エンジンの日常点検、整備を必ず行い、不具合のある場合は使用前に修理してからご使用ください。
- ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して換気の良い場所で行ってください。
- 燃料を補給するときや燃料タンクの付近では、タバコを吸ったり炎や火花などの火気を近づけないでください。
- 燃料をこぼさないように注意し、所定のレベルを超えないように補給し、燃料キャップを確実に締めてください。もし燃料がこぼれた場合は、きれいにふき取りよく乾かしてからエンジンを始動してください。

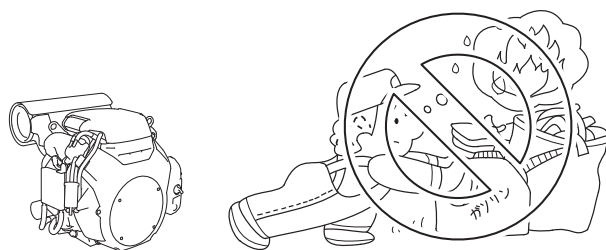


警告

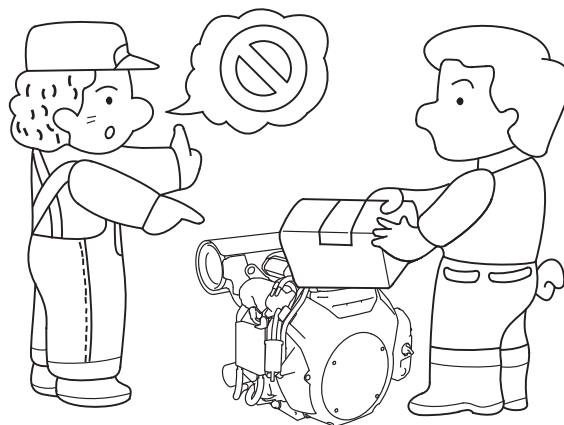
- 室内、車内、倉庫、トンネル、井戸、船倉、タンク内などの換気の悪い所では使用しないでください。有害な一酸化炭素がたまってガス中毒を引き起こすことがあります。
- 排気ガス中には有害な成分が含まれています。ご使用になる方はもちろん、まわりの人や動植物などにも十分注意してください。
- 建物や遮へい物などで風通しの悪い場所、また排気ガスがこもる場所などでも有害な一酸化炭素がたまってガス中毒を引き起こすことがありますので使用しないでください。



- 思わぬ転倒事故を防止するためにエンジンは水平で安定した場所に設置してください。また火災を防止するために建物およびその他の設備から 1 m 以上離して設置してください。
- エンジンのまわりには、わらくず、紙くず、木くずなどの燃えやすいものや、油脂類、石油製品、火薬などの危険物を近づけないでください。火災や爆発の危険があります。



- 運転中はもちろん、使用しないときも、エンジン上部に物を置かないでください。変形したり、思わぬ事故を引き起こすことがあります。
- 運転中や停止直後はエンジン本体やマフラーなどに触れないでください。熱によりヤケドをするおそれがあります。
- 運転中は高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電のおそれがあります。



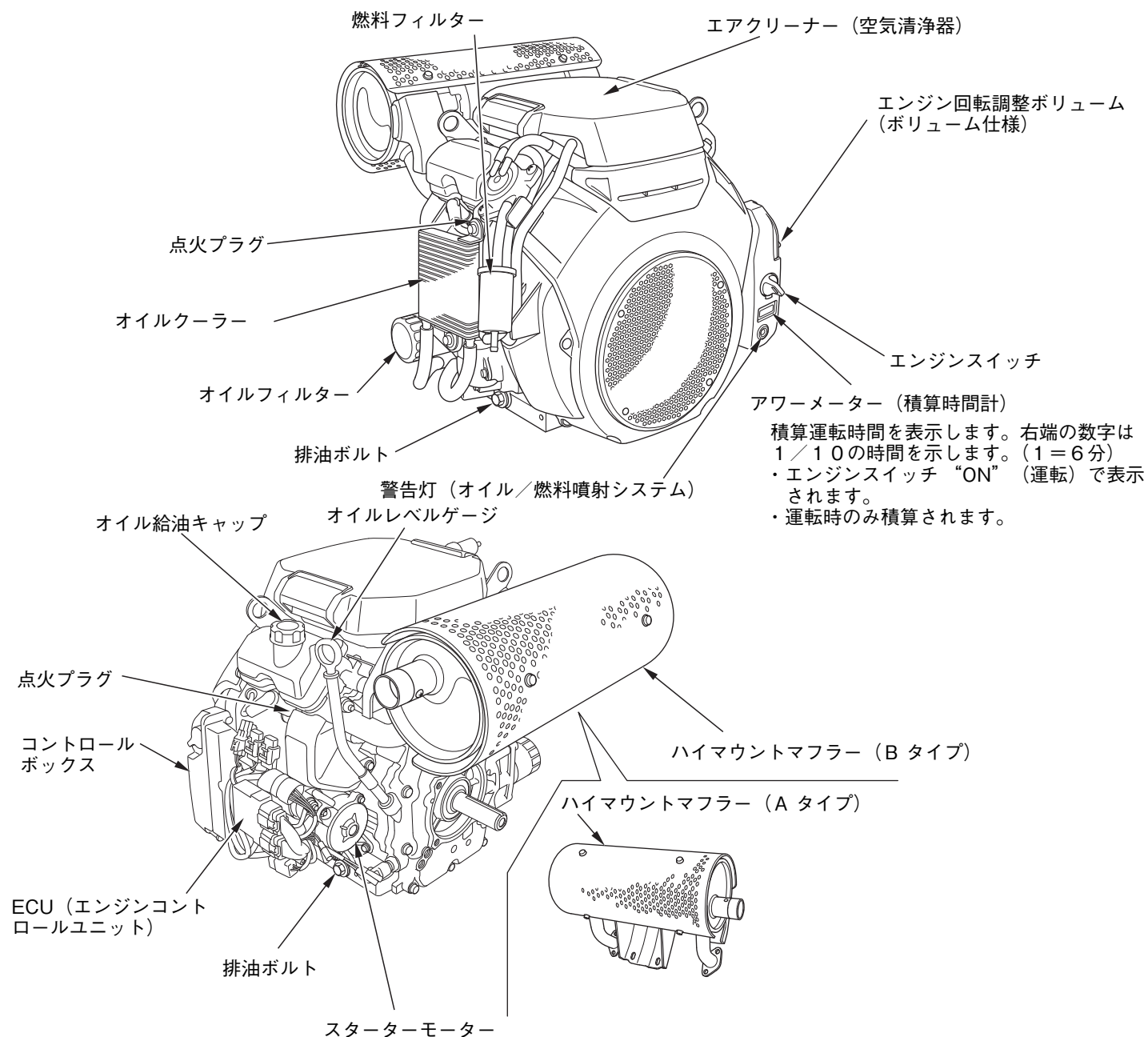
エンジンを始動する前に点検しましょう

エンジンの周りや下側に燃料、オイルの漏れがないことを確認してください。

警告

点検は平坦な場所でエンジンを水平にしエンジンを止めて行ってください。誤ってエンジンが始動しないように点火プラグキャップを外してください。不安定な場所やエンジンを始動したまま点検を行うと思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

各部の名称と点検箇所



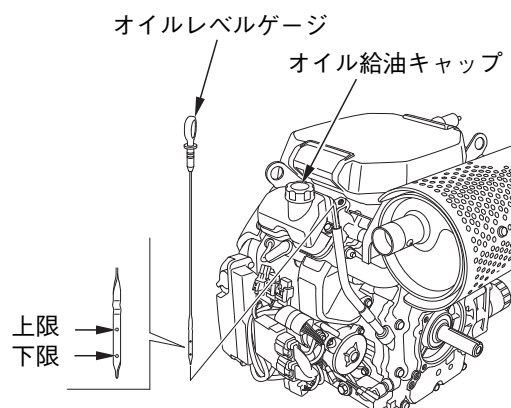
エンジンを始動する前に点検しましょう

エンジンオイルの点検

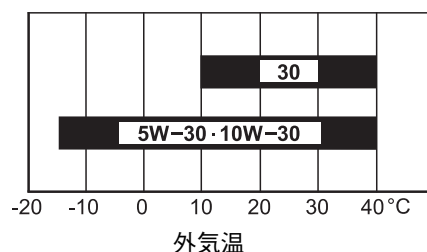
《点検・補給》

エンジンを始動する前に（エンジンが冷えているとき）エンジンオイル量を確認します。

1. 暖機運転1～2分後エンジンを停止し、さらに2～3分置きます。
2. エンジンを水平にします。オイルレベルゲージを外し、布などでオイルレベルゲージについたオイルを拭きます。
3. オイルレベルゲージをいっばいに差し込み、抜き取ります。
4. オイルが図のようにレベルゲージの上限と下限の間にあることを確認します。
5. オイル量が下限に近かったら、オイル給油キャップを外し、入れすぎないように上限まで新しいオイルを補給します。
 - ・オイルの汚れや変色が著しい場合はオイルを交換してください。（交換方法は11頁参照）
6. オイルレベルゲージ、オイル給油キャップを確実に取付けます。



エンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを表にもとづきお使いください。



《推奨オイル》

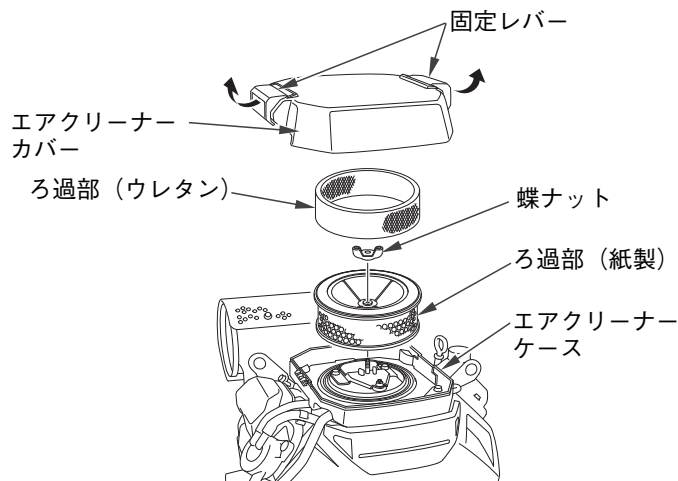
- ・ Honda 純正ウルトラ U 汎用 (SAE10W-30)
または API 分類 SE 級以上の SAE10W-30 オイルをご使用ください。

取扱いのポイント

オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

エアクリナー（空気清浄器）の点検

- ・ 固定レバーを外してエアクリナーカバーを取外します。
- ・ 蝶ナットを外し、ろ過部（ウレタン、紙製）が汚れていないか、確認します。
- ・ 汚れている場合は清掃してください。（清掃方法は12頁参照）
- ・ 汚れているとエンジン性能が低下します。



オイルアラート

（オイルアラート付タイプのみ）

焼付防止エンジン自動停止装置

上記エンジンオイル量の確認を必ず行ってください。

エンジンオイルが不足すると警告灯が点灯し、エンジンは自動的に停止します。エンジンオイルを補給してください。エンジンオイルが不足したままでは始動できません。

バッテリーの取付けと点検

⚠ 警告

- バッテリーに接続されているコードはすべて取外してから行ってください。
- バッテリーを取扱うときは風通しのよいところで行いショートによる火花に注意し、火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性のガスが発生しているので爆発の危険があります。
- バッテリー液面が下限以下のままで使用または充電はしないでください。バッテリー液面が下限以下のままで使用または充電をするとバッテリーの劣化を早めたり、破裂（爆発）の原因となるおそれがあります。破裂（爆発）の場合は、重大な傷害に至る可能性があります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付くとその部分が侵されますので十分注意してください。万一、付着した時はすぐに大量の水で少なくとも15分以上洗浄し、専門医の診断を直ちに受けてください。
- バッテリーのとの接続は、結線を正確に行ってください。接続時は⊕側から接続し、外すときは⊖側から外してください。工具などが接触するとショートする場合があります。

《取付け》

- バッテリーは市販品の12V/36AH(55B24)以上の仕様をご使用ください。バッテリーの購入についてはお買いあげ販売店にご相談ください。
- バッテリーとエンジン間のコードは自動車専用ビニール被覆電線（低電圧用）で断面積が15mm²以上のもので圧着端子付きを使用してください。コード長さは1.5m以内にしてください。
- バッテリー端子にグリス等を塗布し保護してください。さらに⊕端子にはカバーをしてください。
- 端子のゆるみ、腐蝕は接触不良の原因となります。ゆるんでいるときは確実に締付けてください。端子に白い粉が付いている場合は、お湯で清掃し、グリスを塗布してください。

バッテリーコードの接続

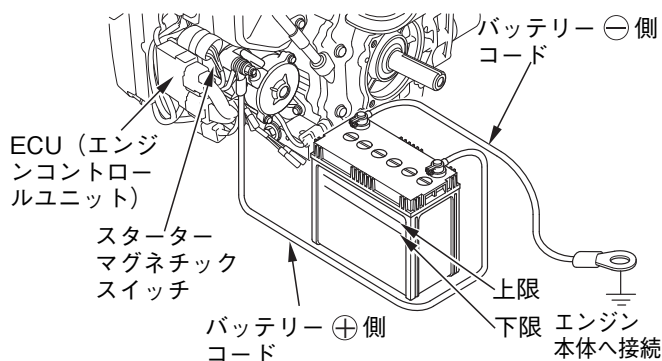
取扱いのポイント

- バッテリーコードの接続は必ず次の手順で行い、取外しは逆の手順で行ってください。誤るとショートする場合があります。
- バッテリーコードは、ECU（エンジンコントロールユニット）の近くを通さないように注意してください。

1. バッテリーの⊕側コードを図のようにスターターマグネチックスイッチの⊕端子に確実に接続します。
2. バッテリーアースコードを確実に本機にアースさせます。
3. バッテリーコードの⊕端子をバッテリーの⊕ターミナルに接続し、次に⊖端子を⊖ターミナルに接続します。

《点検》

- バッテリーの液面が上限と下限の間にあることを確認します。
- 少ないときはキャップを外して蒸留水を上限まで補給してください。
- キャップの通気孔の詰まりがないことを確認します。
- バッテリーの接続がまちがっていないか、また締付けナットがゆるんでいないことを確認してください。



取扱いのポイント

- 必ず蒸留水を補給してください。水道水はバッテリーの寿命を縮める原因となります。
- 上限以上に蒸留水を補給しないでください。入れすぎると電解液がこぼれて金属を腐食させる原因となります。万一バッテリー液をこぼしたときには水洗いしてください。

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- ・排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれています。屋内でエンジンを始動するときは換気に十分注意してください。ガス中毒を引き起こすおそれがあります。
- ・エンジン始動は、平坦な場所で行ってください。転倒などにより思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

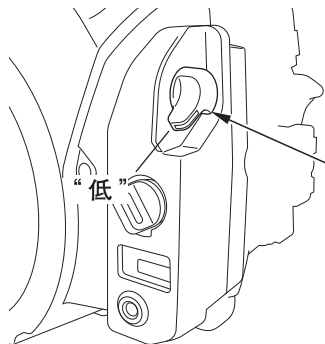
かけかた

- ・エンジンをかける前に作業機を取扱説明書を読んでください。
- ・遠隔操作仕様は作業機を取扱説明書に従ってください。

[1]

エンジン回転調整ボリューム

(ボリューム仕様)

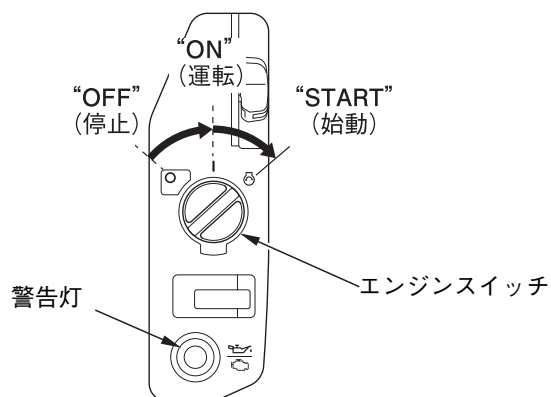


エンジン回転調整ボリューム

- ・エンジン回転調整ボリュームを“低”の位置にします。

[2]

エンジンスイッチ



- ・エンジンスイッチを“ON”の位置に回すと、警告灯が一度点灯して消灯します（ランプチェック）。
- ・エンジンスイッチを“START”（始動）の位置まで回しエンジンを始動します。
- ・エンジンが始動したらエンジンスイッチから手を離します。スイッチは自動的に戻ります。

取扱いのポイント

セルスターターを回して5秒以内でエンジンが始動しないときは、10秒ほど間をおいてから再始動してください。

[3]

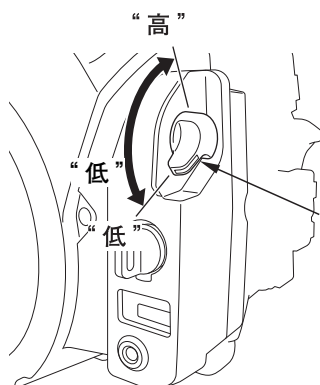
始動

- ・2～3分間暖機運転を行ってください。

[4]

エンジン回転調整ボリューム

(ボリューム仕様)



エンジン回転調整ボリューム

- ・エンジン回転調整ボリュームを使用する回転数に調整してください。

※ エンジン回転数が固定されている作業機もあります。

エンジンのとめかた

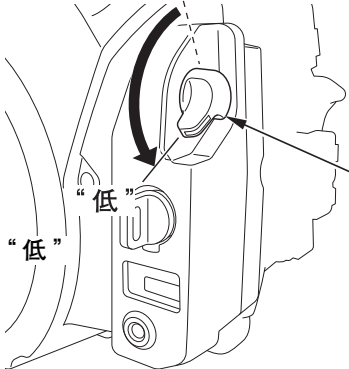
とめかた

・遠隔操作仕様は作業機の取扱説明書に従ってください。

[1] エンジン回転調整ボリューム

(ボリューム仕様)

- ・エンジン回転調整ボリュームを“低”の位置(矢印の方向)に戻します。



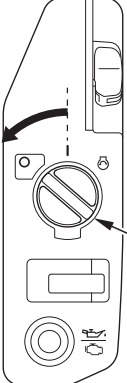
“低” “低”

エンジン回転調整ボリューム



[2] エンジンスイッチ

- ・エンジンスイッチを“OFF” (停止) の位置に回します。モーターの作動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。



“OFF” (停止)

エンジンスイッチ

定期点検を行いましょ

お買いあげいただきました Honda エンジンをおいまでも安全で快適にお使いいただくために定期点検を行いましょ。

定期点検表

点検整備項目	点検時期 (1)	作業前点検	初回	6ヵ月毎	1年毎	2年毎	参照頁	
			1ヵ月目 または 20時間 運転目	または 100時間 運転毎	または 300時間 運転毎	または 500時間 運転毎		
エンジンオイル	点検	○					6	
	交換		○	○			11	
エンジンオイルフィルター	交換	200時間運転毎 (4)						—
エアクリナー	点検	○					6	
	清掃			○ (2)			12	
	交換					○ (*)		
オイルクーラー (装着機のみ)	点検	○ (3)					—	
点火プラグ	点検、調整			○			13	
	交換				○			
スパークアレスター (装着機のみ)	清掃			○			14	
吸入、排気弁のすき間	点検、調整				○ (4)		—	
燃焼室	清掃	1000時間運転毎 (4)						
燃料フィルター	交換				○ (4)			
燃料チューブ	点検	2年毎 (必要なら交換) (4)						

(*) 紙ろ過部のみ交換してください。

(1) 点検時期は表示の期間毎または時間運転毎のどちらか早い方で実施してください。

(2) ホコリの多い場所で使用した場合、エアクリナーの清掃は10時間運転毎または1日1回行ってください。

(3) 芝・草・ゴミ等の堆積物がある場合は、清掃を適時行ってください。

(4) 適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげ販売店またはサービス店で実施してください。

警告

- 点検、整備は平坦な場所で必ずエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないように点火プラグキャップを取外して行ってください。(13頁参照)
- 排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれています。屋内でエンジンを始動するときは換気に十分注意してください。ガス中毒を引き起こすおそれがあります。

点検・整備のしかた

エンジンオイルの交換

エンジンオイルが汚れていると摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル容量を守りましょう。

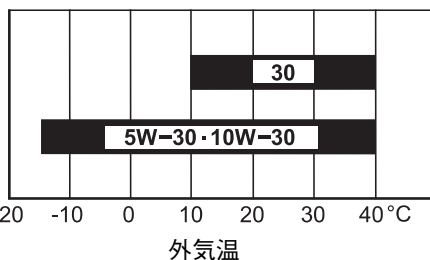
⚠注意

- エンジン停止直後はエンジン本体の温度や油温が高くなっています。十分に冷えてからオイル交換を行ってください。ヤケドをするおそれがあります。
- オイル量の点検は水平な場所で行ってください。

《推奨オイル》

- Honda 純正ウルトラ U 汎用 (SAE10W-30)
または API 分類 SE 級以上の SAE10W-30
オイルをご使用ください。

エンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを表にもとづきお使いください。

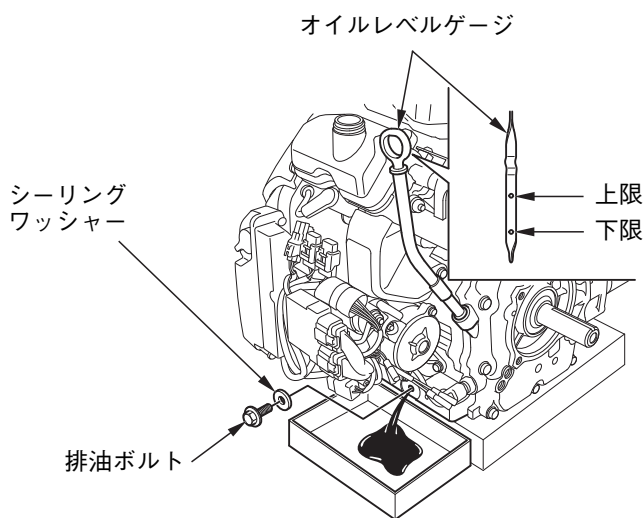
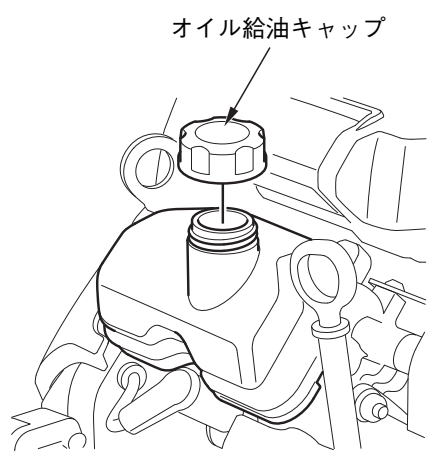


《オイル容量》

- オイル交換時：1.6 L
- オイルフィルター交換時：1.8 L
- オイルの容量はエンジンの中に残っているオイルの量により異なります。必ずオイルレベルゲージで確認しながらオイルを入れてください。

《交換方法》

1. オイル給油キャップ、排油ボルトを外してオイルを抜きます。
2. 排油ボルトをきれいに洗い、新しいシーリングワッシャーを取付け、排油ボルトを確実に締付けます。
3. 新しいエンジンオイルをオイルレベルゲージの上限まで注入します。
4. 注入後、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締付けます。



取扱いのポイント

- 交換後のエンジンオイルはゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。オイルの処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な点はオイルをお買いあげになったお店にご相談のうえ処理してください。
- オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。
- オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検、交換を行ってください。

エアクリナー（空気清浄器）の清掃・交換

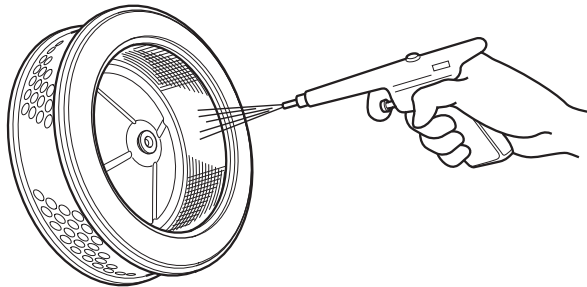
エアクリナーが目詰まりすると出力不足や燃料消費が多くなるので定期的に清掃、交換（紙製ろ過部のみ）をしましょう。

警告

- ・ 洗剤は引火しやすいので、タバコを吸ったり、炎などの火気を近づけないでください。火災を起こす可能性があります。
- ・ 清掃は換気の良い場所で行ってください。

《清掃》

1. 固定レバーを外してエアクリナーカバーを取外します。
2. 蝶ナットを外し、ろ過部（ウレタン、紙製）を取外します。
3. ろ過部（紙製）の内側から圧縮空気を吹きつけるか、または軽く叩いて汚れを落としてください。

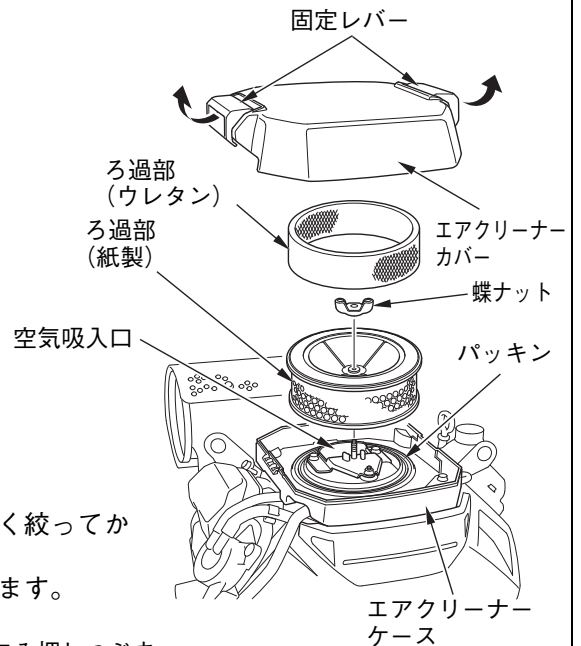


4. ろ過部（ウレタン）を洗剤または水で薄めた中性洗剤で洗い、よく絞ってから乾かします。
5. ろ過部（ウレタン）を新しいエンジンオイルに浸した後、固く絞ります。

「洗剤」または 布で包み押しつぶす 新しいエンジン 布で包み押しつぶす
「水で薄めた中性洗剤」 ようにしぼる オイルに浸す ようにしぼる
で洗う



6. エアクリナーケースに付着したほこりを取り除いてください。その際、空気吸入口にほこりが入らないようにしてください。
7. ろ過部（ウレタン、紙製）、エアクリナーカバーを取外しと逆の手順で取付けます。



取扱いのポイント

- ・ エアクリナーを外した状態でエンジンを運転しないでください。エンジンが早く摩耗する原因になります。
- ・ ろ過部（ウレタン）にオイルをつけすぎないように注意してください。
- ・ パッキンが確実に付いていることを確認してください。

点検・整備のしかた

点火プラグの点検・調整・交換

電極が汚れていたり、プラグすきまが不適当な場合、完全な火花が飛ばなくなりエンジン不調の原因になります。

⚠注意

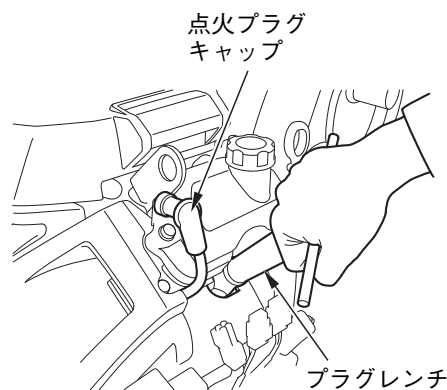
- ・エンジン停止直後のマフラーや点火プラグなどは非常に熱くなっています。ヤケドをしないように作業はエンジンが冷えてから行ってください。

《清掃》

1. 点火プラグキャップを外して、プラグレンチで点火プラグを取外します。
 2. 汚れている場合はワイヤーブラシ等で側方電極部を清掃してください。
- ※ ワイヤーブラシは別売りです。

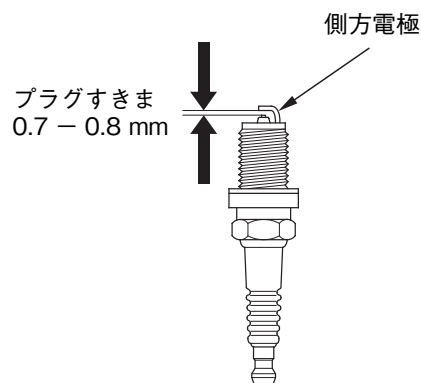
《点検・調整》

- ・プラグすきまを確認し、側方電極を曲げてプラグすきまを下記寸法に調整します。
- プラグすきま：0.7－0.8 mm
- 取付けははじめに指で軽くねじ込み、次にプラグレンチ、プラグレンチハンドルで確実に締付けます。プラグキャップを確実に取付けます。



《標準プラグ》

BPR5ES (NGK)



取扱いのポイント

故障の原因となるので指定以外のプラグを使用しないでください。プラグの取付けは、ネジ山を壊さないように、はじめに指で軽くねじ込み、次にプラグレンチで確実に締付けてください。

点検調整後はプラグキャップを確実にセットしてください。確実にセットしないとエンジン不調の原因になります。

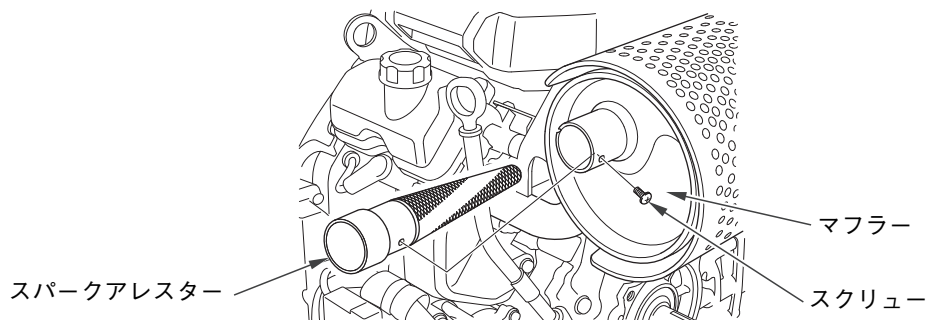
スパークアレスターの清掃（装備機のみ）

⚠ 注意

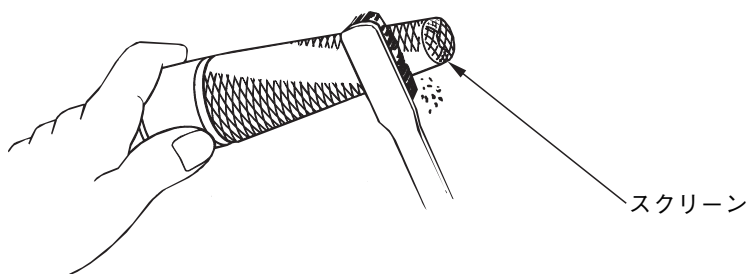
エンジン停止直後のエンジン本体やマフラーなどは非常に熱くなっています。ヤケドをしないよう作業はエンジンが冷えてから行ってください。

《清掃》

1. スクリュー 1 本を外し、マフラーからスパークアレスターを取外します。



2. スパークアレスターを目視で確認し、目詰まりがないことを確認します。
目詰まりがある場合はワイヤーブラシ等でスクリーンを清掃してください。



3. スパークアレスターをマフラーに取付けます。

点検・整備のしかた

ヒューズの交換

ヒューズが切れるとエンジンがかかりません。

取扱いのポイント

- ・ヒューズが切れた場合は、ヒューズの切れた原因を調べてください。そのまま交換しても再び切れることがあります。
- ・指定ヒューズ以外のもの、たとえば針金、銀紙などを使用するとエンジンを焼損させる原因となります。

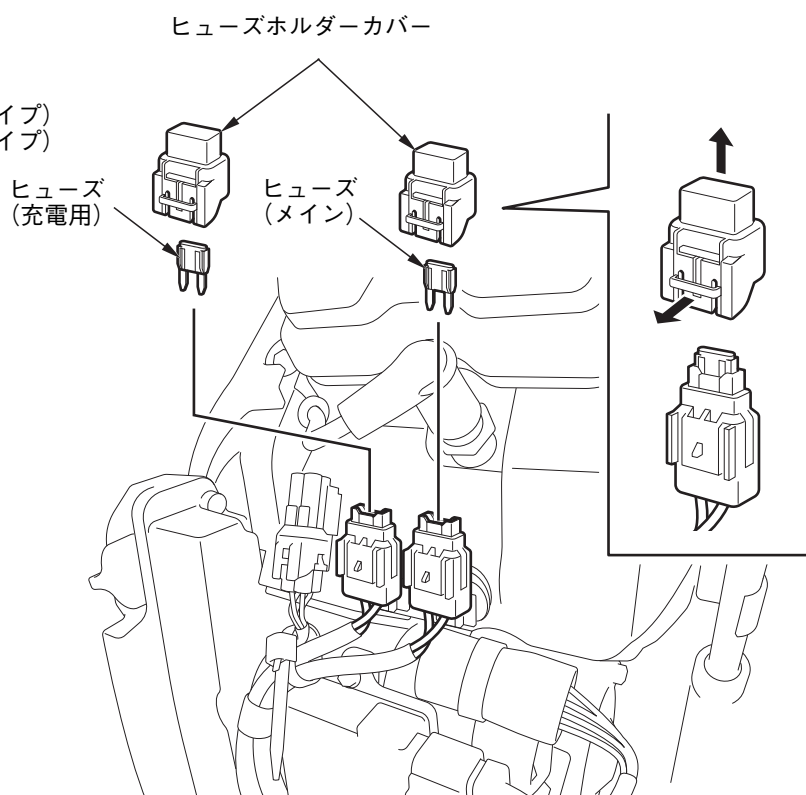
1. エンジンを止めます。
2. ヒューズホルダーカバーを外し、切れたヒューズを外します。
3. 新しいヒューズを差し込み、ヒューズホルダーカバーを取付けます。

《ヒューズ》

メイン：15A

充電用：30A（17A チャージコイルタイプ）

40A（26A チャージコイルタイプ）



故障のときは

まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常があるときは、むやみに分解しないでお買いあげ販売店にお申しつけください。

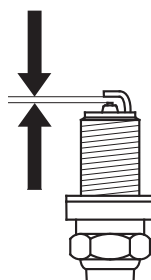
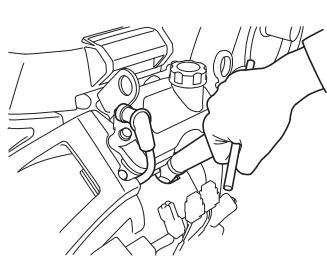
エンジンがかからないとき

- | | |
|--|--|
| (1) ガソリンは十分に入っていますか？
・ 入っていない場合は補給してください。 | (4) エンジンオイル量が不足していませんか？（オイルアラート付タイプのみ）
・ エンジンオイルが不足しているとオイルアラートが働いて始動しません。
・ 少ない場合はオイルレベルゲージの上限までエンジンオイルを入れてください。（6 頁参照） |
| (2) バッテリーコードは確実に接続されていますか？
（7 頁参照） | |
| (3) ヒューズは切れていませんか？
（15 頁参照） | |



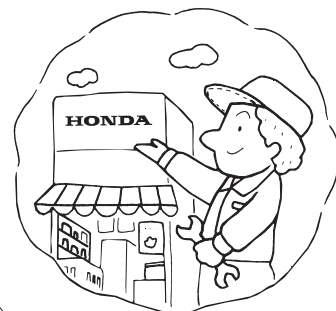
OK

- | | |
|-----------------------------|---|
| (5) 点火プラグがぬれたり、汚れたりしていませんか？ | (6) 点火プラグのすきまは正しいですか？
・ プラグすきまは 0.7 - 0.8 mm |
|-----------------------------|---|



- | | |
|---|---------------------------------|
| ・ ぬれているときや汚れているときは清掃するか新しいプラグと交換してください。（13 頁参照） | ・ すきまが正しくないときは調整してください。（13 頁参照） |
|---|---------------------------------|

(7) 点火プラグを取付けて再始動してください。



NO

- ・ お買いあげの販売店にお申しつけください。

長期間使用しないときの手入れ

長期間使用しない場合、または長期間格納する場合は次の手入れを行ってください。

30日以上使用しないときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。燃料を抜かないと、ガソリンが劣化して次回使用時に始動困難となり、故障の原因となります。エンジンを必ず停止し、万一の始動を防ぐため点火プラグキャップをプラグから取外します。

⚠️ 注意

- 平坦な場所で必ずエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないように点火プラグキャップを取外して行ってください。
- エンジン停止直後のエンジン本体やマフラー等は非常に熱くなっています。ヤケドをしないように、各部が十分に冷えてから作業をおこなってください。

1. 各部の清掃を行います。
2. エアクリーナーを清掃します。(清掃：12頁参照)
3. 燃料タンク内の燃料を抜きます。燃料コックがある場合は"ON" (開) の位置にします。
(燃料の抜き方は作業機側の取扱説明書を参照してください。)
4. エンジンを始動し (8頁参照)、エンジン内の燃料が完全に無くなりエンジンが停止するまで運転します。エンジンが停止したら、エンジンスイッチを"OFF" (停止) の位置に回します。
エンジンスイッチが"ON" (運転) のままで放置するとバッテリーあがりの原因となります。燃料コックがある場合は"OFF" (閉) の位置にします。

⚠️ 警告

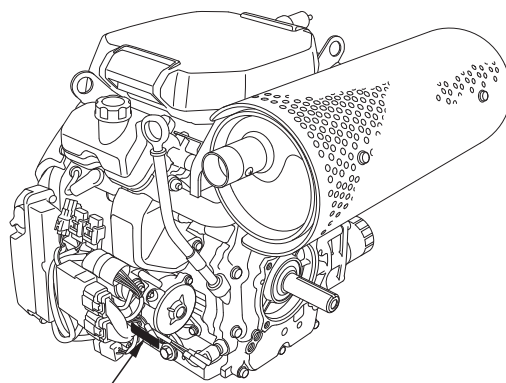
- ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。
- ガソリンを抜くときは
 - エンジンを停止してください。
 - 火気を近づけないでください。
 - 換気の良い場所で行ってください。
 - ガソリンはこぼさないように抜いてください。万一こぼれたときは、布きれなどで完全にふき取り、火災と環境に注意して処分してください。

- エンジンオイルを交換します。(11頁参照)
- ビニール等でカバーをします。
- 湿気、ホコリの少ない所に保管してください。

取扱いのポイント

- 次回使用時は、新鮮なガソリンを入れてください。
- オイルは自然に劣化します。使用しない場合も定期的に交換してください。(6か月に1回新しいオイルと交換)

タイプ、エンジン号機の表示位置



タイプ、エンジン号機

主要諸元

寸法質量は T タイプ（コントロールボックス付）の数値です。

名 称	iGX800
型 式	GCAVH
全 長	429 mm * 1
全 幅	492 mm * 1
全 高	438 mm * 1
乾 燥 質 量 (重 量)	46.9 kg * 1
形 式	空冷 4 ストローク (OHV)、90° V 型 2 気筒
総 排 気 量	779 cm ³
連続定格出力／回転速度	15.0 kW (20.4 PS)/3,600 rpm
最大出力／回転速度 (SAE J1349 に準拠 * 2)	18.6 kW (25.3 PS)/3,600 rpm
最大トルク／回転速度 (SAE J1349 に準拠 * 2)	54.5 N·m (5.56 kgf·m)/2,500 rpm
使 用 燃 料	無鉛ガソリン
エ ン ジ ン オ イ ル 量	分解時：2.0 L，オイル交換時：1.6 L，オイルフィルター交換時：1.8 L
点 火 方 式	フルトランジスター式点火
始 動 方 式	セルスターター

* 1：印のついた数値はマフラー（消音器）を含みません。

* 2：ここに表示したエンジン出力は SAE J1349 に準拠して 3,600 rpm（最大出力）、2,500 rpm（最大トルク）で測定された代表的なエンジンのネット出力値です。量産エンジンの出力はこの数値と変わる事があります。完成機に搭載された状態での実出力値はエンジン回転数、使用環境、メンテナンス状態やその他の条件により変化します。

・タイプによってコントロールボックスなど装備は異なります。

※諸元は予告なく変更することがあります。

Honda汎用エンジン インターナショナルワランティのご案内

このOEM製品に搭載されたHonda汎用エンジンにはHondaの保証が適用されます。基本的な考え方は以下の通りです。

- 保証条件は、その国においてHondaが定めている汎用エンジンの保証条件に従います。
- エンジン修理の原因が製造上、仕様上のトラブルによるものである場合に保証が適用されます。
- その国にHondaディストリビューターが無い場合は、保証は受けられません。

保証修理の受け方

製品購入日を証明するものと共に買い上げになったHonda汎用エンジンもしくは、Honda汎用エンジンが搭載されたOEM製品を、その国のHonda認定の汎用エンジン販売・サービス店、又はOEM製品を買い上げになった販売店へお持ち下さい。お近くのHondaディストリビューター・サービス店情報ならびに各国における保証条件の検索は弊社のグローバルサービス情報サイト <https://www.hppsv.com/ENG/> にアクセス頂くか、もしくは各国のHondaディストリビューターにお問合せ下さい。

保証適用外項目

以下の項目は、別途書面による取り決めがない限り、Hondaの保証の対象外とする。

- 以下の結果によるいかなる損傷や劣化：
 - 取扱説明書に記載されている定期メンテナンスを怠った結果によるもの
 - Hondaの指定する以外の方法による修理やメンテナンスの結果によるもの
 - 取扱説明書に記載されている以外の使用方法で使用した結果によるもの
 - エンジンが搭載されているOEM製品側の原因によるもの
 - 取扱説明書、保証書等に記載されている以外の燃料を使用した結果によるもの
 - Hondaが認めていない非純正部品、アクセサリを使用した結果によるもの（推奨オイル、フルード等を除く。但し、非純正部品、アクセサリ等を使用しているも、それが不具合の原因でない場合限り、米国・カナダにおけるエミッションワランティは適用されます）
 - 埃や煙、化学薬品、鳥糞、海水、潮風、塩やその他の環境要因に晒された結果によるもの
 - 衝突、燃料への異物混入もしくは燃料劣化、放置、不正な改造もしくは悪用した結果によるもの
 - 経年劣化によるもの（塗装、塗装表面の色あせ、剥がれやその他の自然劣化）
- 消耗部品：Hondaは自然磨耗による部品の劣化については保証をしない。以下は保証適用外とする。（保証修理の一部として必要な場合を除く）
 - スパークプラグ、燃料フィルター、エアクリナーエレメント、クラッチディスク、リコイルスターターロープ
 - 油脂類・オイル、グリス
- 清掃、調整、定期メンテナンス（キャブレタ清掃、エンジンオイル抜油等）
- レース、競技目的での使用における損傷
- 金融機関や保険業者により届出された盗難品や廃棄利用目的で再販されたOEM製品に搭載されたエンジン

SERVICE & SUPPORT ラベルについて

エンジンには右図のようなラベルがエンジンに貼付されていることがあります。二次元（QR）コードを読み取っていただき、web にアクセスするとサービス情報が取得できます。※機種によっては貼付されていない場合もあります



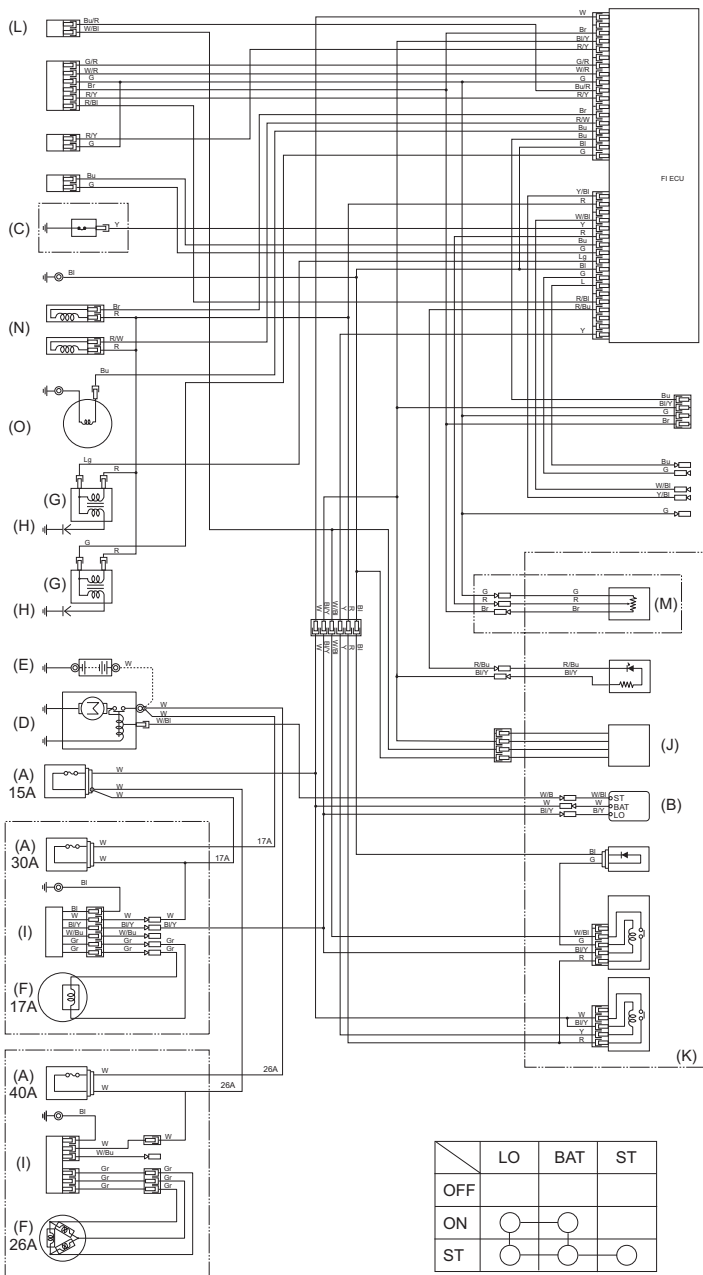
https://www.hondappsv.com/ENG/QR/GX700_800/

配線図

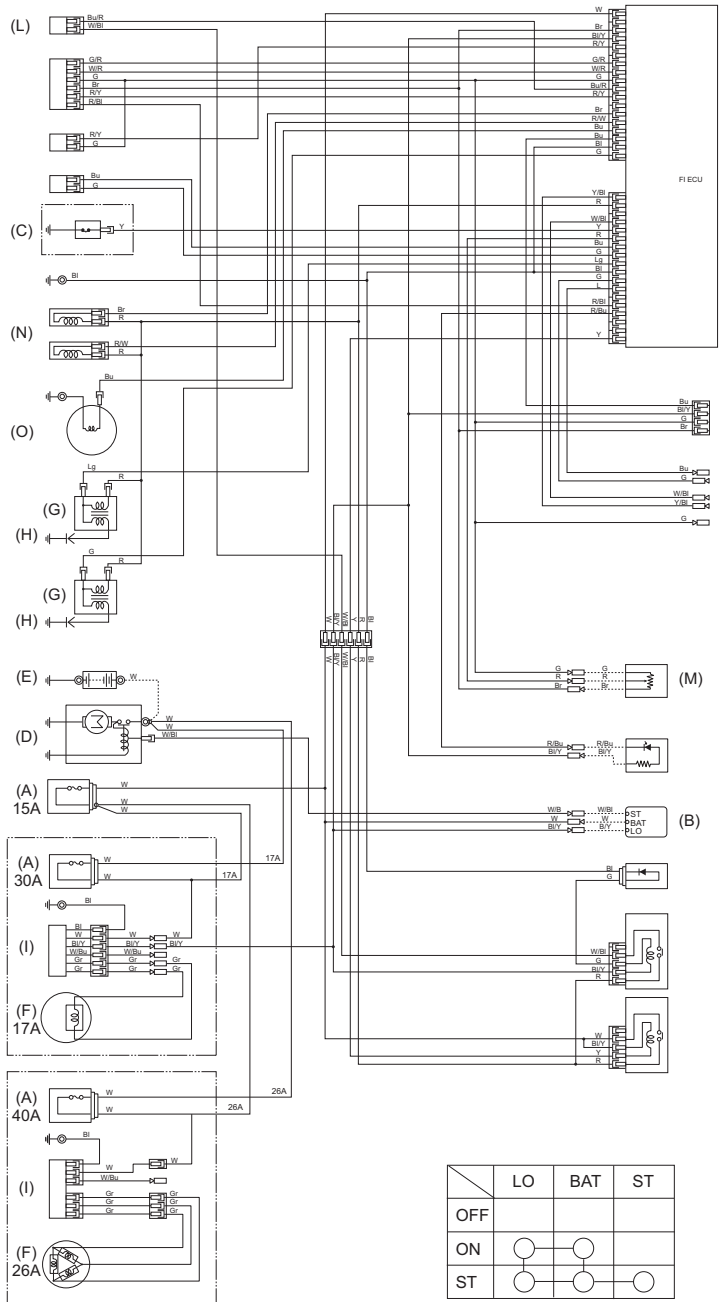
- (A) ヒューズ
- (B) エンジンスイッチ
- (C) オイルレベルスイッチ
- (D) スターターモーター
- (E) バッテリー
- (F) チャージコイル
- (G) イグニッションコイル
- (H) 点火プラグ
- (I) レギュレーターレクチファイヤー
- (J) アワーメーター
- (K) コントロールボックス
- (L) フューエルポンプ
- (M) エンジン回転調整ボリューム
- (N) インジェクション
- (O) バルサーコイル

- Bl 黒
- Br 茶
- Bu 青
- G 緑
- Gr 灰
- Lb 空
- Lg 若葉
- O 橙
- P 桃
- R 赤
- W 白
- Y 黄

コントロールボックス付



コントロールボックスなし



HONDA

Honda 汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、まず、
Honda 販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120 - 112010

受付時間 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

Honda 汎用製品に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- (1) 製品名、タイプ名
- (2) ご購入年月日
- (3) 販売店名
- (4) エンジン号機 _____ (書込み控え欄)